

法甲第百十六号

更定衝突豫防規則訳文上呈之儀ニ付上申

客年十二月御允許之末早速當掛ヨリ貴国ニ注文仕置候  
更定衝突豫防規則之義ハ歐米各國聯盟致シ本年九月一  
日ヨリ履行仕候事故本邦ニ於テモ一時モ早々取調致事  
ト存右注文之書類相俟仕候得共未到着不仕候処頃日横  
濱面字新聞附録中談則本文大掲載致候ニ付不取敢掛員  
翻訳仕候テ上呈仕候尤更定之主意等巨細之義ハ追テ右  
注文之書類到着之上取調上申可仕候也

海上法律取調掛

明治十三年四月九日 六等出仕田口直

海軍御榎本武揚殿

外入第百八十九号

二百七

海軍省

0826



海上衝突豫防規則

二百八

海軍省

0828

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海軍省

0829

海軍衝突豫防規則

村上敬次郎

加藤

斌

同譯

總則

第一條 此規則中汽船ト虽モ帆ニテ走リ蒸氣ヲ用ヒサ  
ルモハ帆船ト心得蒸氣ヲ用フルモハ帆ヲ用フルト用  
ヒサルトノ差別ナク總テ汽船ト心得ヒシ

點燈規則

第二條 各船日没ヨリ日出マテノ間ハ天氣ニ拘ラス常  
ニ第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第  
十條第十一條ニ記載スル燈火ヲ掲クヘシ決シテ他ノ  
燈火ヲ用フヘカラス  
第三條 汽船ハ航行中必ス左ノ如ク燈火ヲ掲クヘシ

甲

前下播又ハ其前面ハ於テ船体上ヨリ二丈以上ノ  
 高サニ高明ナル白燈ヲ掲クヘシ若シ船幅二丈ヲ  
 越フルハ船体上ヨリ其船幅以上ノ高サニ之ヲ  
 掲クヘシ○此燈火ハ常ニ不同テク高明ノ光ヲ發  
 シ針盤ノ二十方位ヲ照スヘク造リ之ヲ左右舷外  
 ハ十方位ツ、即船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二方  
 位マテ光線ノ及テヘキ様装置シ且晴天ノ暗夜ニ  
 シクモ五里ノ距離ヨリ見フヘキモノヲ用フベシ

乙

右舷ニ綠燈ヲ掲クヘシ○此燈火ハ常ニ不同テク  
 高明ノ光ヲ發シ針盤ノ十方位ヲ照スヘク造リ之  
 ヲ船ノ正首ヨリ右舷正横後ノ二方位マテ光線ノ  
 及フヘキ様装置シ且晴天ノ暗夜ニ少クモ二里ノ  
 距離ヨリ見フヘキモノヲ用フヘシ

0831

丙

左舷ニ紅燈ヲ揚クヘシ○此燈火ハ常ニ不同ナク  
<sup>火</sup> 亮明ノ光ヲ發シ針盤ノ十方位ヲ照スヘク造リ之  
ヲ船ノ正首ヨリ左舷正横後ノ二方位ニテ光線ノ  
及フヘキ様装置シ且晴天ノ晴夜ニ少クモ二里ノ  
距離ヨリ見フヘキモノヲ用フヘシ

丁

右紅緑ノ舷燈ニハ燈火ヨリ前ニ三尺以上出タル  
虞風様ノ隔板ヲ其燈火ノ内側ニ當テ、装置シ右  
舷燈ハ左舷ニ在ル船ヨリ見ヘス左舷燈ハ右舷ニ  
在ル船ヨリ見ヘサル様ニナスヘシ

第四條

汽船他<sup>汽船</sup>引テ航行スル時ハ兩舷燈ノ外ニ亮明  
ノ白燈二個ヲ三尺以上隔テ、縦ニ層揚シ獨走ノ汽船  
ト區別スヘシ此燈火ハ獨走ノ汽船ニ揚クル白燈ト同  
製ナルヲ用ヒ汽船ノ白燈ト同所ニ揚クヘシ

0832

第五條 電信線ノ沈架又ハ引揚ニ從事スル船及ヒ事變  
 ノ為運自由ヲ得サル船ハ汽船ト帆船ノ差別ナク夜  
 間ハ直径八寸三分以上ノ球形紅燈三個ヲ三尺以上隔  
 テ、縦ニ層掲シ藻船ノ白燈ヲ掲クヘキ場所ニ掲クヘ  
 シ又昼間ハ直径二尺ノ黒球又ハ黒色形象三個ヲ三尺  
 以上隔テ、前播ノ前面ニ層掲シ最下ノ形象ヲ前下播  
 ノ頭部ヨリ下クヘカラス  
 右ノ形象及ヒ燈火ハ運自由ヲ得スシテ他船ノ航路  
 ヲ避クル能ハサル船ノ信号ト認ムヘク且右ノ船水ヲ  
 切リテ運行セサル中ハ舷燈ヲ掲クヘカラス航行スル  
 中ハ之ヲ掲クヘシ  
 第六條 帆船ハ自ラ走ルト他船ニ引カル、ノ差別ナク  
 白燈ヲ除クノ外第三條ニ記載スル航行汽船ノ燈火ヲ



掲クハシ決ミテ白燈ヲ掲クハカラス

第七條 小形船ニ於テ天気ノ模様ニ依リ緑紅ノ燈ヲ

掲ケ難キ片ハ緑燈ハ右舷ニ紅燈ハ左舷ニ於テ何時ニ

テモ標示スヘキ様甲板止ニ用意シ置キ他船ノ我船ニ

近寄り来ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行ク片ハ衝突

ヲ防クニキ充分ナル間合ニテ各燈ヲ他船ヨリ能ク

見フル様各燈ニ標示スヘシ但シ此ノ時緑燈ハ左舷ヨ

リ見ヘス紅燈ハ右舷ヨリ見ヘサル様ニ為スヘシ

右緑紅ノ燈ヲ置違ナク容易ニ取扱フ為ノ紅燈ノ燈

籠ハ綠色紅燈之燈籠ハ紅色ニテ外面ヲ塗リ且ツ成規

ノ隔板ヲ之ニ備置クヘシ

第八條 帆船ト汽船ノ差別ナク碇泊中ハ最モ見ヘ易ク

シテ船体上ヨリ二丈ヲ越ヘサル所ニ白燈ヲ掲クヘシ

0834

而シテ其燈籠ハ直径六寸六分九厘以上ノ球形ニシテ常ニ  
不同ナク其光明ノ光ヲ燈ノ周辺一里以上ノ距離ヨリ見ユ  
ヘキモノヲ用ユヘシ

第九条 水先船其水先區ニ於テ水路嚮導ニ從事スルハ  
ハ他船ニ用フル燈火ヲ掲ケス但諸方ヨリ見ラヘキ様  
楯頭ニ白燈一個ヲ掲ケ且十五分時以内ノ時間ヲ隔テ  
、閃光一個又ハ數個ヲ發スヘシ而シテ水路嚮導ニ從  
事セサルハ他船ト同様ノ燈火ヲ掲クヘシ

第十条 甲 甲板ナキ漁船其他甲板ナキ小艇航行中ハ  
他船ト同様ノ燈火ヲ掲クルニ及ハス只一面ハ  
綠色ノ硝子板一面ハ紅色ノ硝子板ヲ仕組ミ夕  
ル燈籠一個ヲ備置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ル  
力又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クハ衝突ヲ防

クヘキ充分ナル間合ニテ其燈籠ヲ標示スヘシ  
但シ此時綠光ハ左舷ヨリ見ヘス紅燈ハ右舷ヨ  
リ見ヘサル様ニ為スヘシ

乙 漁船及ヒ甲板ナキ小艇碇泊中ハ  
一 個ヲ標スヘシ

丙 漁船ニテ流網中ハ其播ニ紅燈二個ヲ三尺以上  
隔テ、縦ニ層揚スヘシ

丁 曳網漁船ハ漁獵中其播ニ紅燈ヲ上ニシ綠燈ヲ  
下ニシ三尺以上隔テ、縦ニ層揚シ且他船ト同  
様ノ舷燈ヲ揚クヘシ但シ舷燈ヲ用フル能ハサ  
ル中ハ第七條ノ彩燈又ハ本条甲号ニ記載スル  
紅綠硝子製ノ燈籠ヲ備フヘシ

戊 漁船及ヒ甲板ナキ小艇ハ時宜ニ依リ燈火ノ外

ニ閃光ヲ射奈スルモ昔シカラス

(己)

本條ニ記載スル燈火ハ千八百六十八年英國海

獵條例ニ附録スル英佛條約第十二條第十三條

第十四條ノ燈火ヲ更定スルモノトス

(庚)

本條ノ諸燈ハ舷燈ヲ除クノ外皆球形ノ燈籠ニ

シテ周辺諸方ヲ照スベク造リタルモノトス

第十一條

他船ニ追越サル、船ハ他船ヨリ見フヘキ様

其船尾ニ於テ白燈ヲ標シ又ハ閃光ヲ奈スヘシ

霧雪中ノ信号

第十二條

汽船ハ汽笛其他蒸気ニ由リテ奈聲スル信号

ヲ音響ノ妨ケラレサル場所ニ装置シ且号鐘及ヒ鞆其

他ノ器械ヲ以テ奈聲スヘキ霧中号角ヲ備フヘシ帆船

ハ右同様ノ号角及ヒ号鐘ヲ備置クヘシ

霧中及之降雪中ハ昼夜ノ差別ナク本条ニ記載スル信号ヲ尤ノ如ク使用スヘシ

甲 航行中ノ汽船ハ汽笛其他ノ汽声信号<sup>号</sup>以テ二分

時以内ノ時間毎ニ長聲ヲ奏スヘシ

乙 航行中ノ帆船ハ号角ヲ以テ二分時以内ノ時間

毎ニ右舷開キナレハ一聲ヲ奏シ左舷開キナレ

ハ二聲ヲ連奏シ船ノ正横後ニ風ヲ受ケタルキ

ハ三聲ヲ連奏スヘシ

丙 汽船ト帆船ノ差別ナク航行中ニ非ザレハ二分

時以内ノ時間毎ニ号鐘ヲ鳴スヘシ

霧中中等ニ節減スヘキ船ノ速力

第十三条 汽船ト帆船ノ差別ナク霧中及之降雪中ハ程

好キ速力ニテ航行スヘシ

0838

船及帆ノ用法

第十四条 二艘ノ帆船互ニ近寄り衝突ノ懼アルハ一

方ノ帆船ヨリ左ノ規則ニ隨フテ他船ノ航路ヲ避クハ

甲 一杯ニ開カサル船ハ一杯ニ開キタル船ノ航路ヲ

避クヘシ

乙 左舷ニ一杯ニ開キタル船ハ右舷ニ一杯ニ開キタ

ル船ノ航路ヲ避クヘシ

丙 一杯ニ開カサル二艘ノ船風ヲ受クル舷方同シカ

ラサルハ左舷ニ風ヲ受ケタル船ヨリ他船ノ航

路ヲ避クヘシ

丁 一杯ニ開カサル二艘ノ船風ヲ同シ舷方ヨリ受ク

ル時ハ風上ノ船ヨリ風下ノ船ノ航路ヲ避クヘシ

(戊)

風ヲ船後ヨリ受ケタル船ハ他船ノ航路ヲ避クヘシ

第十五条 二艘ノ漁船真向又ハ殆ント真向ニ行逢フテ

衝突ノ懼アル中ハ必ス其航路ヲ右舷ニ轉シテ他船ノ左舷ノ方ヲ航行スヘシ

水條ハ只兩船ノ真向又ハ殆ント真向ニ行逢フテ衝突ノ懼アル時ノミニ應用スヘク各其航路ヲ轉セスシテ互ニ離レテ替リ行クトキニ應用スヘカラス

水條ヲ應用スヘキ場合ハ兩船共ニ真向又ハ殆ント真向ニ行逢フタル時即昼間ハ我船ノ諸播ト他船ノ諸播ト一直線又ハ殆ント一直線ニ見フル時夜間ハ互ニ他船ノ兩舷燈ヲ一時ニ見ル時ニ限ルヘシ水條ハ昼間他船ノ我航路ヲ横切リテ我船ノ前面ニ

0840

見フル時又ハ夜間我船ノ紅燈他船ノ紅燈ニ對シ或  
ハ我船ノ綠燈他船ノ綠燈ニ對スル時或ハ我船ノ前  
面ニ綠燈ナクシテ紅燈見一又ハ紅燈ナクシテ綠燈  
見フル時或ハ我船ノ前面ヲ外シテ綠紅ノ兩燈見フ  
ル中ハ應用スヘカラス

第十六条 二艘ノ汽船互ニ航路ヲ横切り衝突ノ懼アル  
中ハ我船ノ右舷ニ他船ヲ見ル方ヨリ他船ノ航路ヲ避  
クヘシ

第十七条 帆船ト汽船互ニ近寄り衝突ノ懼アル中ハ汽  
船ヨリ帆船ノ航路ヲ避クヘシ

第十八条 總テ汽船ノ他船ニ近寄り衝突ノ懼アル中ハ  
航カヲ緩ニシ又ハ時宜ニ依リ停止シ且後退スヘシ

第十九条 汽船他船ニ近寄り此規則ニ遵フテ航行スル



ニ當リ我船ノ航路ヲ他船ニ示サントスル片ハ左ノ汽  
笛信号ヲ用フヘシ

一 短聲一発 我船ノ航路ヲ右舷ニ轉スルノ意

二 短聲二発 我船ノ航路ヲ左舷ニ轉スルノ意

三 短聲三発 我船全速カヲ以テ後退スルノ意

右ノ信号ヲ用フルト用ヒサルトハ勝手タルヘシトモ  
此之ヲ用ヒタル片ハ其信號ニ随フテ其航路ヲ取ラサ  
ルヘカラス

第二十條 帆船ト汽船ノ差別ナク他船ヲ追越サントス  
ル片ハ以上ノ規則ニ拘ラス其追越サントスル船ヨリ  
他船ノ航路ヲ避クヘシ

第二十一條 總テ汽船狹隘ノ水道ヲ通行スル片ハ咸ル  
一ク其航路即中流ニ於テ我船ノ右舷ニ當ル方ヲ通過

スレシ

第二十二條 以上ノ規則ニ依リテ兩船ノ中一船ヨリ他

船ノ航路ヲ避クルハ他船ハ其航路ヲ保守スレシ

第二十三條 此規則ヲ遵守スルニ就テハ航海上百般ノ

危険ニ心ヲ配リ且危険切迫ノ為北規則ヲ遵守スルニ

暇ナキ場合ニ於テハ臨機ノ処置ヲ以テ之ヲ避クルニ

注意スレシ

各船常ニ適宜ノ用心ヲ怠ルベカラサルコト

第二十四條 此規則ニ於テ點燈信号又ハ見張ヲ怠リ或

ハ航海者ノ常務英ニ臨機処置ニ必要ナル用心ヲ為サ

サル船ハ船主船長水夫ニ至ルマテ其責ヲ承ルヘカラ

サルモノトス

港内英ニ内海湖河航行規則ノ關係

第二十五條 此規則ハ地方官ニ於テ制定スル港内其他

内海湖河航行規則ノ施行ニ干渉セサルモノトス

艦隊及ヒ護送船ノ燈火

第二十六條 此規則ハ二艘以上ノ軍艦及ヒ護送セラル

ル船ニ於テ別段ニ標示スルキ列位燈及ヒ信号火ニ付

各國政府ノ制定スル規則ニ干渉セサルモノトス

0844

